

### 【子ども110番の家・車スキルアップ研修会より】

1月27日(火)「子ども110番の家・車スキルアップ研修会」に参加しました。青森県警察本部生活安全企画課が主催して、平成26年度の不審者被害の現状や子どもたちへの指導及び周りの大人がすべき対応などについて研修を行いました。大事なことについて何点かお伝えしたいと思います。

#### 不審者被害の現状

- ・強制わいせつ事件の発生が県内で51件あったが、特に弘前管内が最多であった。他市との比較では、青森市の2倍以上、八戸市の3倍以上の件数となっている。
- ・連れ去りや声かけや性犯罪の事案の中で被害者は小学生の占める割合が多くなっている。発生については、学校から下校する時間帯が多く、曜日では水曜と木曜が多い現状となっている。
- ・全国的にも小学生が被害者となる事案が多く、児童の誘拐や略取・監禁、死体遺棄事件などが今年度にもあった事案としてあげられる。

#### 子どもたちへの指導

- ・ **い**か…知らない人について**い**かない
- ・ **の**…知らない車に**の**らない
- ・ **お**…**お**おきな声でさげぶ
- ・ **す**…**す**ぐに逃げる
- ・ **し**…**し**らせる
- ・ 上記の「いかのおすし」の他に不審者の乗った車があれば、ナンバーの一部でも覚えておくようにする。(これまでに犯人を逮捕できた事例があり)

#### 周りの大人がすべき対応

- ・ 子どもを落ち着かせて話をよく聞いてあげる。
- ・ 早期通報を心がける。
- ・ 通学路等の環境面を改善する。
- ・ 被害防止教育を推進する。
- ・ 安全情報を活用する。

### 【地域の安全・安心のために…】

皆さん、ご周知のとおり、2/5(木)和歌山県紀の川市で小学校5年生の男子児童が刃物で刺され亡くなった事件が発生しました。とても痛ましい事件であり、一つのかげがえのない命が奪われたのだと思うと残念でしかたありません。昨今、不審な人物による事件が後を絶たない現状にあり、社会生活の安全・安心が揺らぎかかっています。危険ドラッグにより正常な運転ができずに起こる大きな交通事故、ネットのSNS上でのトラブルから世の中に勝手に恨みをもって無差別にくり広げる殺傷事件、精神疾患や精神的な発達上の問題をかかえた人物による傷害事件、性行動傾向の強い人物による性犯罪など、事件や犯罪のニュースを聞かない日はないと言っても過言ではありません。

事件や犯罪の取り締りは警察や裁判所など司法機関にゆだねるにしても、我々が社会生活を営む上で安全・安心を育むためには、生活者たる我々自体が作り出す生活環境が与える影響もあると思います。事件や犯罪が起こりにくい、または起こしにくい風土を地域総がかりで取り組んでいくことが重要です。事件や犯罪を起こそうとしている人が、その地域に、気軽に声をかけ合ったりあいさつを交わし合ったりする雰囲気を感じると、事件や犯罪を起こそうとする気持ちが弱まるものだというを生徒指導関係のある研修で聞いたことがあります。人と人とのつながりが防犯力となり、人と人とのつながりによる地域の結束力が安全・安心を育む土台となり、そのような地域で人が育ち、また、そのような人たちが地域をつくっていくという好循環が防犯力をさらに高めてくれるものと思います。100%の防犯は難しいですが、人による事件や犯罪を防ぐのですから、関係機関と連携をとって地域に住む我々人の手で安全・安心を保っていききたいものです。